

令和5年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
—	—	河野 訓	学長・教授	宗教学・仏教学	(1)漢訳仏典と儒仏道三教交渉史の研究 (2)20世紀中後半における中国仏教寺院の変貌の研究 (3)宗教都市伊勢における神仏分離と全国の神仏分離との比較研究 (4)紀伊半島における神仏の交渉 (5)世界の諸宗教に関する研究
文学部	神道学科	板井 正斉	教授	宗教社会学、宗教民俗学、神道福祉論、GIS 研究	地域神社に関する基礎的研究 ①神社周辺人口の地理空間(GIS)分析 ②祭礼行事の継承状況の分析 ③神社を地域資源とした福祉・防災活動の事例分析 ④原田敏明毎文舎文庫を活用した分析
		加茂 正典	特命教授	神道史・日本文化史	前近代における国家と祭祀の史的研究。伊勢神宮祭祀と朝廷祭祀の史的研究 ① 吉田神社社家鈴鹿家文書の研究。 ② 鈴木重胤関係資料の蒐集と研究。
		中山 郁	教授	宗教学(山岳宗教・修験道研究、修行論、戦争慰霊研究)高等教育	① 海外戦没者慰霊の基礎的研究(研究) ② 山岳修験における修行と祭祀の研究(研究) ③ 神道学における動画教材の授業への活用(教育) ④ 「学生主体型授業」のさらなる実践(教育)
		橋本 雅之	特別教授	神道古典、上代文学、神話学	古風土記の受容について 古事記の注釈 神道古典概説
		松本 丘	教授	神道史・神道思想史	1、垂加神道を中心とする江戸時代神道史の研究 2、崎門における神道・儒学思想の研究
		岩城 隆宏	特命准教授	装束に関して	現行の装束規定について検証する
		高野 裕基	助教	近現代神道史 宗教行政史	井上哲次郎における「教育と宗教の衝突」と国民道徳論
	国文学科	大島 信生	特別教授	上代国語国文学	1、万葉集の訓詁注釈的研究 2、日本書紀の研究
		上小倉 一志	教授	書道	・隷書から楷書への過渡期の文字変遷とその表現法に関する研究(継続中) ・木簡の用筆法とその表現法に関する研究 ・韓天寿『岡寺版集帖』に関する調査・研究(継続中) ・硯と墨色の研究(継続中)
		齋藤 平	教授	日本語学・社会言語学	① 地震津波記念碑の社会言語学的研究 ② 三重県方言の研究 ③ 『丹洞夜話』の研究
		田中 康二	教授	日本近世文学・国学	江戸時代中期に発祥した「国学」について、古代・中世にルーツを持つ「歌学」からの連続性と断絶という観点と、近代以降現代に及ぶ国文学研究、さらには古典教育への断続性という観点の二つの視点から、国学者の残した業績を見直す作業を行う。また、それらを通時的に貫通する「日本古典学」を構築することを目標とする。
		松下 道信	教授	中国宗教思想	・道教(北宋～元までの全真教・内丹道について) ・神道と中国思想、特に道教思想とのかかわりについて
		岡野 裕行	准教授	文学散歩、読書会、ビブリオバトル、書物文化、文学館	①文学散歩の研究 ②読書会の研究 ③ビブリオバトルの研究

令和5年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
文学部	国文学科	木村 尚志	准教授	中世文学	中世和歌における武士と東国
		千色 淳子	特命准教授	公共図書館と地域、マイクロライブラリー	① 図書館の企画展示 ② 公共図書館における地域との連携と地域活性化 ③ マイクロライブラリーの可能性
		平石 岳	助教	日本近代文学	昭和期における徳富蘆花文学の受容と再創造に関する研究
		吉井 祥	助教	中古文学	「平安時代における和歌の機能とその変容に関する研究」 平安和歌の機能と史的展開について、特に社交詠に着目して明らかにする。
	国史学科	遠藤 慶太	教授	日本古代史	『日本書紀』が編纂後にいかなる意味をもっていたかを追究し、弘安本(吉田本)を書写したと思われる兼瀬本など、特徴的な中世写本をとりあげて『日本書紀』受容の実態を解明する。
		岡野 友彦	教授	日本中世史	① 中世公家社会と公家領荘園に関する研究 ② 北畠親房と伊勢国司北畠氏に関する研究 ③ 中世の伊勢神宮と神道・神社に関する研究 ④ 源氏長者・徳川家康に関する研究 ⑤ 古文書の料紙に関する研究
		多田 寛道	教授	日本中世史	神宮と仏教の関係についての研究
		谷口 裕信	教授	日本近代史、地方行政史	① 近現代日本における郡の地域的結合について ② 近代における旧伊勢御師の活動について
		服部 直美	特命教授	教育学(教職論)	教員免許状取得を目指す大学生における教職志望意識の変化にかかる考察
		堀内 淳一	教授	東アジア古代外交史・コンテンツ文化史	(1) 古代における日本・朝鮮・中国を中心とした外交関係 (2) 日本における魏晋南北朝史の展開 (3) 日本における中国イメージ形成の展開について
		松浦 光修	教授	日本思想史	皇学思想の形成過程、幕末維新期の思想史的考察
		谷戸 佑紀	准教授	日本近世史	① 近世国家における伊勢神宮の位置づけに関する研究 ② 近世の神社に関する研究 ③ 近世社会の統治システムに関する研究
		長谷川 伶	准教授	日本近現代史 満洲経営 戦争と宗教 満蒙開拓団の戦後 図画像史料研究	① 日本の満洲進出と国内向けプロパガンダの研究 ② 満蒙開拓団引揚げ後の国内での生活再建について、三重県・奈良県における再開拓を行った天理教開拓団を事例として分析 ③ 旧華族家の生活史をオーラルヒストリーと文字史料を組み合わせる分析 ④ 古写真・絵葉書・音源など非文字史料の歴史学への活用 GISを活用した分野横断型研究プラットフォーム構築にむけた基礎的研究
メディア・コミュニケーション学	張 磊	教授	人工知能	文系学生の人工知能教育の在り方について	

令和5年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
文学部	コミュニケーション学科	豊住 誠	教授	英語教育学	英語教育の理論および実践にかかわる研究
		芳賀 康朗	教授	心理学	ヒト特異性の認識に関する心理学的研究
		クリストファー・メイヨー	教授	日本文化史、日本中世史、日本史	(1) 歴史学と文学の接点に関する研究 (2) 日本古典と古文書の解読・註釈、翻訳、歴史文化的位置づけに関する研究
		川村 一代	准教授	英語教育	テーマ: 中高生の対話能力とその評価 ① 中学生の対話能力の評価: 「面接型」テストと「対話型」テストの比較 ② 中学生の対話能力と情意(国際志向性・WTC・自己効力感)の関係 ③ 留学体験が高校生の対話能力に与える影響
		栗野 理恵子	准教授	受容的音楽療法 フォーカシング 心の健康づくり	① フォーカシング指向音楽聴取の継続的実施がもたらす心理・生理的反応の特徴 ② 音楽聴取の心理的機能と身体感覚の関連
		高沢 佳司	准教授	心理学	(1) 内的感覚への心理的距離の決定要因～想起容易性/パラダイムおよび動機づけの観点から～ (2) ミリタリーソーシャルワークに着目した自衛隊の自死予防ソーシャルワークモデルの開発 (3) 強みや強みを伸ばそうとする心理教育がネガティブな効果をもたらすとき
		中山 真	准教授	心理学(社会心理学)	① SNSにおける自己呈示およびプライバシー意識の規定因 ② 美容整形に対する態度尺度作成
		玉田 貴裕	助教	英語学	英語史における使役移動構文の発達
教育学部	教育学科	大杉 成喜	教授	特別支援教育・教育工学	・障害のある児童生徒の教材開発・実践研究 令和3年度～5年度科学研究補助金(研究代表 大杉成喜)(令和6年度まで延長予定)「視線入力を活用した重度身体障害児者の遠隔eSports参加による自己肯定感の向上」 ・小さい子ども・知的障害のある子どものプログラミング教育に関する研究 ・皇學館中学校未来理工と連携した中学生のプログラミングに関する実践研究 ・三重県の地域の課題に応じた特別支援教育にかかる実践研究
		加藤 純一	教授	体育科教育学 武道思想史	○器械運動の教材開発について ○コロナ禍における「暫定的な剣道試合・審判法」について ○VTRを用いた模擬授業の省察(継続)
		叶 俊文	教授	体育心理学	・子どもの運動に対する動機づけについて ・子どもに対する野外教育の意義について
		駒田 聡子	教授	食育・家庭科教育・子育て支援	1. 保育教育現場における食物アレルギー児支援 2. 保育(児童養護施設を含む)・教育現場における食育、食育環境の在り方 3. 実践を伴う幼児教育・教科教育の在り方について(保育・学校教育・社会教育)
		勢力 稔	特命教授	教育学、教科教育学、教師教育学	「教員の授業改善(ICT活用含)を目指した研究」 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指した、授業方法 (ICT活用・評価手法)の開発に関する研究
		中條 敦仁	教授	国語教育学 言語教育学 ICT教育	国語教育: キャリア教育の視点を持った国語教育の方法の可能性に関する研究 言語教育: 生活絵本群の言語分析に関する研究 ICT教育: 教育におけるデジタル紙芝居の有効性に関する研究

令和5年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
教育学部	教育学科	中松 豊	教授	応用昆虫学 理科教育学 生活科教育学 環境教育学	・寄生蜂を使った昆虫の生体防御機構の解明 ・保育園から高等学校理科の生物分野における昆虫を使った観察・実験教材の開発
		村瀬 雅俊	特命教授	非線形数理学	数理教育における創造的学習方法の探究と展開 －異分野統合による創発原理の理論と実践－
		吉田 直樹	教授	発達心理学・環境心理学 学・臨床心理学	教育施設における心理相談の物理的環境整備
		渡邊 賢二	教授	教育心理学, 家族心理学	児童期から青年期の親子関係, 親子間葛藤, 子育て支援 小中学生と教師の支援
		渡邊 毅	教授	道德教育	道德教育の教育的効果に関する研究 道德教育による子供の学校不適應の予防と対処に関する研究 教材開発
		市田 敏之	准教授	教育行政学	米国における初等中等教育段階の科学技術人材育成に関する研究 「ICTを活用した学習指導力」の育成に関する研究
		井上 兼一	准教授	教育史学	1930～40年代における学制改革の再検討 戦後三重県における教育委員会の施策と活動に関する基礎的研究 近代の社会事業における政府・皇室・宗教の役割に関する実証的研究
		小川 真由子	准教授	小児保健、学校保健、子育て支援	①養護教諭の緊急時対応における臨床判断に至るプロセスの検討 ②祖父母世代の子育て支援に関わる教育の構築
		片山 靖富	准教授	応用健康科学	・身体活動の増加ならびに運動の習慣化を促す研究(運動プログラムの開発) ・大学生体力と学力との関係／大学体育授業の教育効果 ・幼保教員の身体活動量と園児の身体活動量との関係 ・スポーツの習い事ははじめたきっかけとその後の運動習慣・スポーツに対する価値観との関係
		佐藤 武尊	准教授	自然科学(柔道)	(1) 国際柔道選手競技分析研究 (2) 柔道選手における糖尿病に関する研究 (3) 柔道場における換気に関する研究
		高橋 摩衣子	准教授	音楽教育	●学校音楽教育/幼児音楽教育の現状および時代に即した教員/保育者養成に関する研究。 ●教員・保育者養成課程における学生ミュージカル創作実践。
		土谷 長子	准教授	幼児教育・保育学	乳幼児の発達とそれにふさわしい保育環境・指導のあり方
		野々垣 明子	准教授	教育哲学 社会教育史 教員養成教育	①教員養成における「省察」に関する研究(令和3年度からの継続) ②戦後三重県の社会教育施策における民主主義普及活動の研究(令和2年度からの継続) ③公教育制度の成立過程に関する研究
山本 智子	准教授	障害児教育学(指導法)・ 教育カウンセリング(発達 支援)	・特別支援学校における授業改善 ・障害のある幼児児童生徒の発達支援		

令和5年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
教育学部	教育学科	吉田 明弘	准教授	児童福祉・保育	近年、子どもの貧困など社会の構造的矛盾を背景に、子どもの居場所にかんする研究の必要性が高まっている。これまで取り組んできた児童養護施設や少年院退所(院)者の自立支援との関連で、望ましい子どもの居場所について考察したい。
		吉田 京子	特命准教授	幼児教育	乳幼児期における愛着形成とその後のコミュニケーション能力との関係について
		上野 祐一	助教	解析学、算数・数学教育学	【解析学】Painleve (パニルヴェ)系の良い量子化について 【算数・数学教育学】高大接続、中大接続の数学の在り方について
		澤 友美	助教	理科教育学、環境教育学、昆虫生理学	・小・中学校理科における昆虫を用いた教材の開発と出前授業の実践及び現場教員との共同実践。 ・高等学校生物基礎の食作用実験における、アワヨトウ幼虫の血液保存・提供方法の検討と昆虫の免疫反応を用いた食作用以外の免疫反応の観察・実験教材の開発。 ・理科教育法におけるICTを活用した授業展開の模擬練習と児童図書の活用方法の検討。
		萩原 浩司	助教	脱炭素社会を目指した小学校における社会科・総合的な学習の時間のカリキュラム・授業開発	・近年注目されている「脱炭素社会」を目指した小学校社会科・総合的な学習の時間のカリキュラム開発。 ・カリキュラムに基づく教材や授業の開発。
現代日本社会学部	現代日本社会学科	鶴沼 憲晴	教授	社会福祉法制 社会福祉と権利擁護	福祉サービス利用者の権利擁護
		笠原 正嗣	教授	「交通空白地」における社会的弱者の移動支援	公共交通の衰退傾向が著しい地方都市には「交通空白地」が多く存在する。そこに生活する社会的弱者への移動支援が地域の重要課題となっている。免許返納が声高に叫ばれている超高齢者や、身体障害者が社会活動を維持するためには移動支援が必要で有り、「公共交通網の再構築」と「クルマの社会化」という両側面より、具体例を交えながらその方策を考える。
		岸川 政之	特命教授	SB(ソーシャルビジネス)について	地域の課題などをビジネスの手法で解決していくSBをテーマに、皇學館大学をメイン会場に開催される「全国高校生SBP交流フェア」において、全国の高校生や関係団体の取組を研究し、地域課題の解決方法のヒントを探す。また、学んだSBの手法をどうすれば地域課題の解決に結び付けられるかについて伊勢志摩地域を舞台に考える。 この取組は、社会臨床実習の受講生および有志(皇學館大学SBP研究部会など)を中心に進めていく。
		関根 薫	教授	老年社会学	社会福祉協議会における法人後見についての研究
		千田 良仁	特命教授	農林水産業経済学、開発経済学、地域活性化論、地域イノベーション論	・農林水産業経済学、経営学視点からの実証的、計量経済学的研究 ・地域の活性化および地域イノベーションに関する実証的研究 ・地域食文化研究
		筒井 琢磨	教授	地域社会学	地域社会における社会経済活動団体の現状と課題に関する研究
		富永 健	教授	憲法学	①国体法の研究 国体と憲法との関係、特に現行憲法成立による国体の変革に関する研究 ②政教関係の研究 現行憲法および明治憲法下の政教関係問題の考察 ③憲法改正論の研究 現代における憲法改正論議、各種改正試案についての考察
		新田 均	教授	政治、宗教、天皇	① 近代の政教関係 ② 皇位の継承 ③ 皇室と福祉 ④ 神道と大麻
岩崎 正彌	准教授	日本の伝統文化の教育の再建	日本の伝統文化 ～ その探求と継承、未来への創造と応用～ 基礎:我が国の伝統文化の詳細と本質を学び、その精神的な根源を探求する。 応用:我が国の伝統文化の継承と発展のため、伝統文化教育の内容を構築する。 展開:我が国の伝統文化の未来への創造のため、具体的な方法論を開発し、実践する。		

令和5年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
現代日本社会学部	現代日本社会学科	瓜田 理子	准教授	文化人類学および民俗学 関連	大礼と神宮式年遷宮からみる神楽秘曲の基礎的研究 神楽秘曲の継承原理とレジリエンスについての基礎的研究
		榎本 悠孝	准教授	精神保健福祉、障害者福祉	精神障害者を対象としたグループホームからの地域移行支援における課題
		大井 智香子	准教授	社会福祉、地域福祉	人口流動化する産業衰退地域の再生と生活困難者の地域就労を結ぶ支援モデルの開発 本研究は、地場産業の衰退とそれらを支えてきた不安定就業層の高齢化・生活困窮化の同時発生という課題に対し、人口流動化時代に対応する生活困難者の福祉的支援と衰退産業の地域再生を結ぶダブル・チャレンジを可能とする生活支援モデルの開発を目的とする。
		中野 一茂	准教授	ミタラーソーシャルワーク	自衛隊員の自死の予防モデルの構築 ミタラーソーシャルワークの援用について
		藤井 恭子	准教授	地域社会学、教育社会学、社会調査法	若者による地域活動とソーシャルビジネスに関する研究
		村上 政俊	准教授	国際政治、米中関係、日本の外交安全保障、インド太平洋	本年度は日本政府にとって、令和4年12月に改定された「国家安全保障戦略」に基づきつつ、防衛力強化を具体化させていく重要な時期となろう。中国の力による一方的な現状変更の試み、ロシアのウクライナ侵略、北朝鮮の拉致核ミサイル問題によって劇的に悪化している安全保障環境について、考察を深化させ、政策的含意のある研究を進めたい。
教育開発センター		中村 哲夫	特命教授	体育・スポーツ史	1. 1930-40年代IOCにおけるオリンピック運動の諸相 2. 明治末～大正期にかけての愛知一中における運動部活動の検討
		池山 敦	准教授	コミュニティ政策	地方公務員法改正後の行政協力制度における官民のパワーバランスについての研究
		濱畑 静香	准教授	日本語学・日本語教育学	・日本語学習者の口頭運用能力向上に関する研究 ・EPA(経済連携協定)に基づく外国人看護師候補者の日本語運用に関する研究
研究開発推進センター		荊木 美行	教授	日本古代史	記紀・風土記・『新撰姓氏録』を中心とする古典籍の文献学的研究。
		浦野 綾子	特命准教授	近世文学	長野義言および国学者の研究
		佐野 真人	准教授	日本古代史、神道史	①日本古代における朝廷祭祀・儀礼の研究 ②『延暦儀式帳』の注釈的研究
		塩川 哲朗	准教授	皇室祭祀・神宮祭祀	古代の宮中祭祀と神宮祭祀の構造 古代朝廷で斎行されてきた大嘗祭・新嘗祭をはじめとする天皇祭祀・朝廷祭祀の構造と、伊勢神宮の祭祀構造を比較検討しながら、それぞれの特徴及び本義を解明することを目的とする。既存の研究・思想の枠組みを再検討し、資史料に基づいた祭祀理解を目指す。
		小林 郁	助教	日本中世史・神道史	「伊勢御師橋村家関係資料」を素材とする神宮御師に関する研究